

男性は、正規雇用の方が既婚の割合が高く、年収 300 万円が結婚の分岐点 ～内閣府「結婚・家族形成に関する調査」より～

内閣府が平成 23 年 5 月に発表した「結婚・家族形成に関する調査」によると、未婚者の約 6 割は、今、交際相手がないと回答している。結婚に関しては、男性は正規雇用の方が既婚の割合が高く、また、年収 300 万円が結婚の分岐点となっている。

1. 調査目的

少子化の大きな要因の一つとして「未婚化」があることから、当事者である若者の結婚や家族形成に関する意識や行動を把握・分析し、その原因や社会的要因などを明らかにする。

2. 調査方法等

調査方法：インターネット

調査対象：20～30代の未婚男女および20～30代の結婚3年以内の男女（合計10,000人）

調査期間：2010年9月27日～10月18日

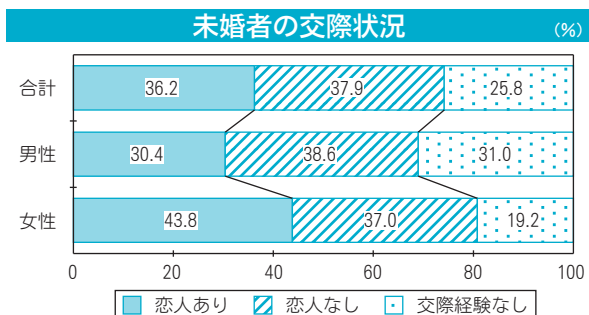
集計：全体の集計は実際の人口構成比を反映させるため、ウェイトをつけて集計している。

3. 調査結果

以下に、調査結果の一部を掲載する。

(1) 未婚者の交際状況

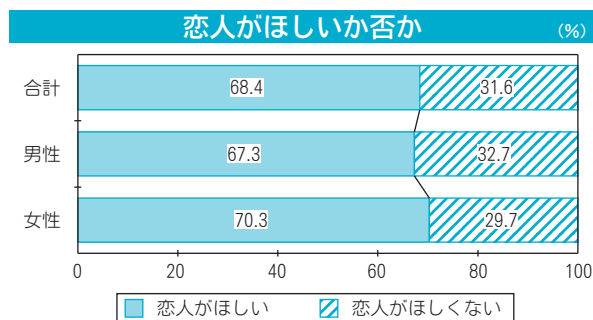
未婚者のなかで「恋人あり」は36.2%と4割弱を占める。一方、「恋人なし」は37.9%、「交際経験なし」は25.8%で、未婚者の63.7%（「恋人なし」と「交際経験なし」の合計）は、今、恋人として交際している異性がないと回答。男女別にみると、「恋人あり」は男性が30.4%であるのに対し、女性は43.8%となり、女性が13.4ポイント高い。



(2) 恋人がほしいか否か

現在、恋人がいない人（「恋人なし」と「交際経験なし」の合計）のうち、「今、恋人が欲しい」と回答した人は約7割（68.4%）だった。また、

男女別では男性が67.3%、女性が70.3%で大きな差異はみられなかった。



(3) 恋人がほしいと思わない理由（複数回答）

恋人がほしいと思わない理由のトップ3は男性が「自分の趣味に力を入れたい」（55.7%）、「恋愛が面倒」（52.6%）、「仕事や勉強に力を入れたい」（36.8%）の順。女性は「恋愛が面倒」（60.1%）、「自分の趣味に力を入れたい」（57.0%）、「仕事や勉強に力を入れたい」（36.1%）の順で、男女間で大きな差異はみられなかった。

恋人がほしいと思わない理由（複数回答）

	仕事や勉強に力を入れたい	自分の趣味に力を入れたい	友人と過ごす時間を大切にしたい	過去に恋愛で失敗した	恋愛が面倒	異性に興味がない	異性と交際するのがこわい	その他
合計	36.5	56.2	13.2	4.8	55.3	15.5	16.2	11.5
男性	36.8	55.7	11.0	4.2	52.6	11.7	14.6	11.6
女性	36.1	57.0	17.2	5.7	60.1	22.2	19.0	11.2

(単位：%)

(4) 年収別にみた婚姻・交際状況

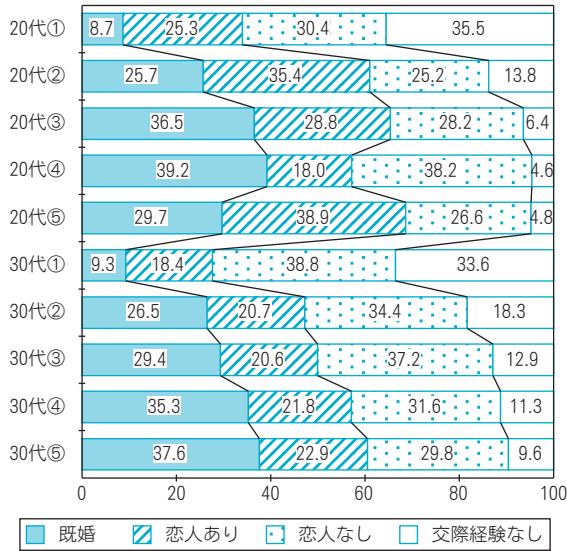
男性の場合、年収が「300万円未満」（「収入がなかった」、「100万円未満」、「100万円～200万円未満」、「200万円～300万円未満」の合計、以下同じ）の層では「既婚」は20代が8.7%、30代が9.3%。これが「300万円～400万円」になると20代が25.7%、30代が26.5%といずれも大きく上昇する。

全体的に年収が上がると既婚の割合も増加する傾向にあるが、年収300万円を境にして割合が大きく変化しており、年収300万円が結婚の分岐点

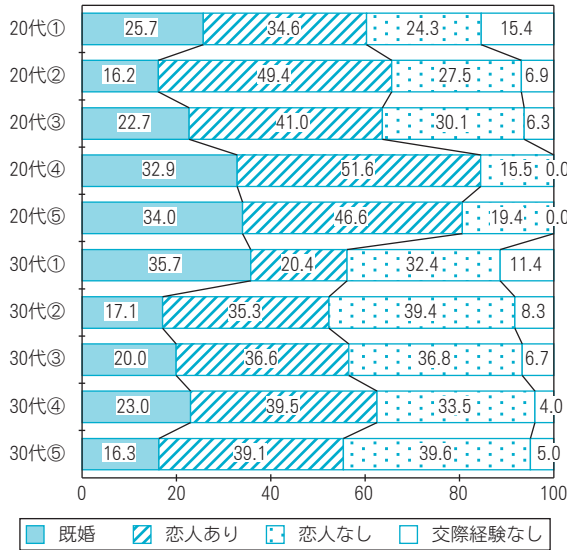
となっている。

一方、女性の場合には、年収が「300万円未満」の場合、既婚の割合は20代が25.7%、30代が35.7%であるのに対し、「300万円～400万円」では20代が16.2%、30代が17.1%となり男性とは逆の傾向が見られる。

年収別にみた婚姻、交際状況（男性） (%)



年収別にみた婚姻、交際状況（女性） (%)

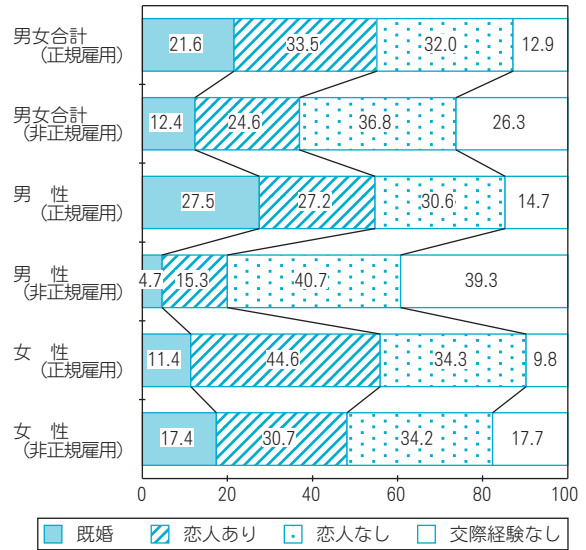


※ ①…300万円未満 ②…300万円以上400万円未満
③…400万円以上500万円未満 ④…500万円以上600万円未満
⑤…600万円以上

(5) 雇用形態別にみた婚姻・交際状況

雇用形態別にみると、性別・年齢を問わず、正規雇用の方が非正規雇用よりも「既婚」および「恋人あり」の合計が高いが、その傾向は女性より男性の方が顕著に表れている。

雇用形態別にみた婚姻、交際状況 (%)

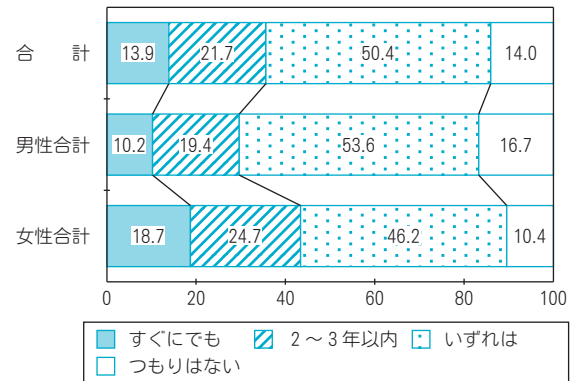


(6) 将来の結婚予定

未婚者のうち、将来的に結婚を望んでいる人の割合（「すぐにも結婚したい」、「2～3年以内に結婚したい」、「いずれは結婚したい」の合計）は86.0%、「結婚するつもりはない」とする人は14.0%だった。

「結婚するつもりはない」との男女別回答は、男性が16.7%、女性が10.4%と男性がやや多かった。

将来の結婚予定 (%)



未婚者の6割は、今恋人として交際している異性がない。そのうち3割強は、恋人を欲しいと思わないと回答。理由の主なものとしては、「自分の趣味に力を入れたい」「恋愛が面倒」など。

婚姻・交際状況を年収別にみると、男性の場合、年収300万円を境に既婚率が大きく変化している。また、雇用形態別では男女とも正規雇用のほうが非正規雇用よりも既婚率が高い。